

1. 研究指導教員の役割と研究指導の方法

研究指導教員は指導大学院生の意志を把握・確認したうえで、自らの専門分野や研究室における指導環境などを考慮しながら、大学院生の研究テーマを提案する。また研究計画の立案、研究の進め方や考え方、討論の仕方、研究結果のまとめ方について指導し、研究の進捗および研究結果に対する評価・助言を行う。さらに、国内外の学会、研究会や報告会などにおける発表内容の作成方法やプレゼンテーションの仕方、修士学位論文の作成・発表、および研究活動全般に関わる指導を行う。

2. 研究指導教員の決定プロセス

- 1) 学生は事前に相談の上、大学院入試出願時に希望する研究指導教員を申告する。
- 2) 入学後に、専攻主任および指導教員と学生がそれぞれの意思を再確認し、必要な場合には調整を行って研究指導教員を前決定する。
- 3) 主任会議において研究指導教員を正式に決定する。

3. 研究指導計画書と報告書の作成と管理・運用方法

研究指導教員は指導する学生の研究テーマに関して、カリキュラム・ポリシーを踏まえて2年間の研究指導の方法、内容、計画等を明示した「研究指導計画書」を作成し、学生と相互に内容を確認する。また、研究指導教員は研究指導終了時に「研究指導報告書」を作成することで、研究指導並びに修士論文の質の保証及び向上を図る。

4. 研究指導計画書と報告書の管理プロセス

「研究指導計画書」および「研究指導報告書」は、専攻主任が提出状況を確認した後に研究科支援室で保管する。

1. 研究指導教員の役割と研究指導の方法

研究指導教員は指導大学院生の意志を把握・確認したうえで、自らの専門分野や研究室における指導環境などを考慮しながら、大学院生の研究テーマ選定に関して助言を与える。また研究計画の立案、研究の進め方や考え方、討論の仕方、研究の進捗や研究結果に対する評価・助言を行う。さらに、研究成果のまとめ方や研究論文の作成方法や、国内外の学会、研究会や報告会などにおける発表内容の作成方法やプレゼンテーションの仕方、博士論文の作成・発表、および研究活動全般に関わる指導を行う。

2. 研究指導教員の決定プロセス

- 1) 学生は事前に相談の上、大学院入試出願時に希望する研究指導教員を申告する。
- 2) 入学後に、専攻主任および指導教員と学生がそれぞれの意思を再確認し、必要な場合には調整を行って研究指導教員を前決定する。
- 3) 主任会議において研究指導教員を正式に決定する。

3. 研究指導計画書と報告書の作成と管理・運用方法

研究指導教員は指導する学生の研究テーマに関して、カリキュラム・ポリシーを踏まえて3年間の研究指導の方法、内容、計画等を明示した「研究指導計画書」を作成し、学生と相互に内容を確認する。また、研究指導教員は研究指導終了時に「研究指導報告書」を作成することで、研究指導並びに博士論文の質の保証及び向上を図る。

4. 研究指導計画書と報告書の管理プロセス

「研究指導計画書」および「研究指導報告書」は、専攻主任が提出状況を確認した後に研究科支援室で保管する。

年 月 日作成  
年 月 日修正

学籍番号		フリガナ 学生氏名		
専攻・分野名			入学 年・月	年 月
課程	博士前期 ・ 博士後期		学年	年
研究題目				
研究指導教員名				

○研究計画（学生が記入）：(研究計画・方法、学会発表、論文作成等の計画を記載)

○研究指導計画（指導教員が記入）

年 月 日作成  
年 月 日修正

学籍番号		フリガナ 学生氏名		
専攻・分野名			入学 年・月	年 月
課程	博士前期 ・ 博士後期		学年	年
研究題目				
研究指導教員名				

○研究指導報告（研究指導計画書から異なった指導を行った場合はその内容を記載してください）

○研究業績等